

愛知県民の生命と自然を守るために、次世代への負の遺産にしないために

設楽ダム建設事業からの撤退を求める署名

愛知県知事 大村秀章 様

国と愛知県が、豊川上流部で本体の建設に取りかかろうとしている設楽ダムは、総貯留容量 9,800 万 m³、総事業費 3,000 億円 という巨大な公共事業です。1970 年代に計画され、50 年近く過ぎました。

水は足りているし、洪水対策にも役立ちません。ダム湖に沈む自然豊かな設楽の地域には、クマタカなど絶滅危惧種を含む多くの希少・貴重な野生生物が棲んでいます。巨大ダムの建設と貯水は、国の天然記念物ネコギギの棲息地を奪い、アマゴやアユ釣りで有名な清流寒狭川をこわします。貯水と堆砂の影響は豊川下流部や三河湾まで及びアサリ湧く六条淵を台無しにします。また、建設予定地は、地質地盤条件が特に悪い場所として知られ、1960 年代はじめに電源開発が調査に入ってからすぐに撤退した同じ場所なのです。ダム湖に水がたまれば、地すべり、液状化、地下水汚染や漏水の恐れがあります。

必要がなく、環境を破壊し、流域住民に危険を押しつける設楽ダム建設を愛知県が推進するなど許されません。愛知県が設楽ダムから水道用水を取水しないと表明すれば、ダムは止められます。

私たちは、愛知県が設楽ダム建設事業から撤退することを求めて署名します。

名 前	住 所（県名からお願いいたします）

- ・署名用紙が足りなくなりましたらこの用紙をコピー（モノクロでOK）してご記入ください。また <http://www.nodam.org/> から署名用紙をダウンロードできます。
- ・Change.org 「設楽ダム建設事業からの撤退を求める」 から署名できます。
- ・署名された名前、住所はこの要請以外には使用しません。
- ・この署名は 2017 年 8 月 31 日を〆切とし、愛知県知事に直接届けます。

取扱団体：

署名用紙送付先 〒440-0069 豊橋市御園町 1 - 3 奥宮芳子(設楽ダムの建設中止を求める会)



設楽ダム事業からの撤退を求める
署名にご協力をお願いします！

愛知県は約 1500 億円の負担。
愛知県内の水道料金は上がる。
農家の負担金も上がる。

ダム建設費は当初 2,070 億円とされ、水源地域対策特別措置法関係を加えて少なくとも 3,000 億円かかるとされていました。(このうち愛知県の負担分は県営水道分を含めて約 1,400 億円)ところが昨年 9 月には、建設費が 330 億円増額されて 2,400 億円となり、愛知県の負担分も増やされました。

完成年度も 2020 年から 2026 年に変更されました。

いつ完成するか、完成までにいくらかかるかわからないダムです。



水は足りているので
役に立たない。

設楽ダム建設事業の目的の柱の一つは、新規の水源開発で、ダムの利水容量として以下が掲げられています。

- ・水道用水に 600 万 m^3 、
- ・灌漑用水に 700 万 m^3
- ・下流の洪水調節のために
1,900 万 m^3

・「流水の正常な機能の維持」(川に流すための水を貯える：これが主目的)に 6,000 万 m^3

しかし、2002 年 3 月に豊川用水事業が完成して、水道用水やかんがい用水は不足がなくなりました。

下流の水害対策はダム抜きでより安価でできます。

世界に類のない非常識な「流水の正常な機能の維持」のためのダムは不要です。

目的を失ったダムです。



寒狭川の清流が失われ、三河湾まで深刻な影響が及ぶ。

ダム湖の水質は清流とは比較にならないほど悪化し、ダム下流への土砂供給が止まります。ダムの堆砂により、川床の砂礫や三河湾の干潟・浅場の砂の減少も避けられず、生態系や漁業資源への影響は深刻になると考えられます。酸素不足によるアサリなど魚介類の被害が大きくなります。